



データシート・エージェント・WORKFLOW AGENTS

業務フローのたびに、誰かの開発を待っていますか？ 今は一文あれば十分です。

Workflow Agents は、ご自身の言葉で説明した文書の業務プロセスを実行します。文書の移動、項目の設定、タスクの作成、結果の通知などです。きっかけとなるトリガーが各実行を開始し、すべてのステップが記録されます。業務部門、オペレーション、IT 向けです。

概要

一文が指示になり、テストランを経て自動化へ進みます。エージェントはステップを計画し、DMS のツールを使い、お決めになった場面では人を関与させます。

01・概要

例外ごとにルールが必要ですか？ 一文で、エージェントが動きます。

従来のワークフローは、すべてのケースにルールを必要とし、それを保守する人も必要です。Workflow Agents は、ご自身の説明から作られる指示で動きます。モデルが文書を読み、次のステップを計画して、DMS のツールを呼び出します。テストと承認が範囲を定めます。

トリガー

AI-DMS の後、メタフィールドの変更、完了したタスク、承認、署名、または手動

ツール

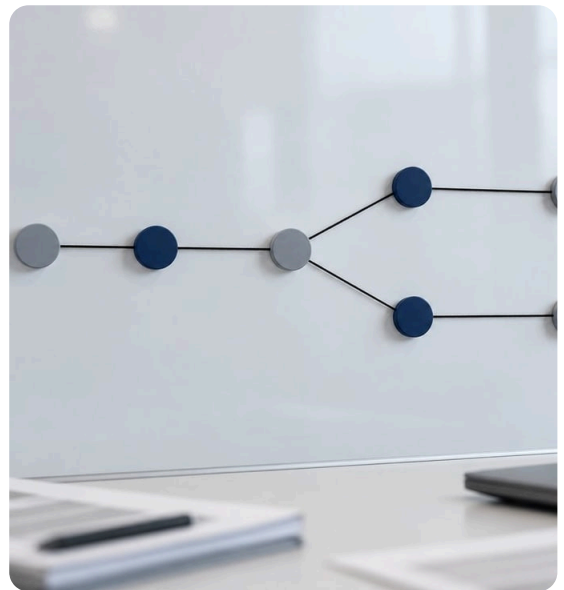
項目の設定、移動、名前変更、墨消し、タスクと確認依頼の作成

管理

自動化の前にドライラン、任意で実行の承認、すべての実行のログ

利用方法

Web アプリ、REST API、MCP。Professional プランに含まれます

**Prompt Studio**

プロセスをご自身の言葉で説明してください。Prompt Studio がそれをエージェントの指示に変換し、検出されたルール、成功の基準、ツールを表示します。

副作用のないテスト

ドライランでは、テスト文書を使って指示を試行します。変更を伴うアクションはサーバー側でシミュレーションされ、文書は変更されません。

承認を経て自動化

プロンプトが承認され、テストが成功するまで、自動化モードはロックされたままです。ご希望であれば、すべての実行を人が確認するように設定できます。

AI-DMS の最低段階

各エージェントには、文書上の最低段階が必要です。文書がそれを下回る場合、PaperOffice は自動化モードで処理を追いつかせます。

プロセスに人を加える

エージェントはタスクを作成するか、人による確認を依頼します。タスクは Web アプリとモバイルアプリに表示されます。

結果を自社のシステムへ

Webhook の送信先は、成功または失敗したすべての実行を、例えば n8n や独自の URL に報告します。署名付きで、最大 10 回まで再試行されます。

02・仕組み

説明し、テストし、 そのあと実行させる。

Workflow Agent は、トリガー、AI-DMS の最低段階、承認済みの指示、モデル段階を組み合わせます。すべての実行は、ステップと所要時間とともに実行履歴に表示されます。

1

エージェントを作成

Workflow AI › Workflow Agents で **新しいWorkflow Agentを作成** を使い、名前と **トリガー**、モデル段階を選択してください。例えば、請求書Workspaceの AI-DMS の後などです。

2

指示を書く

プロンプトスタジオ で、プロセスを説明します。例えば「支払督促を経理Workspaceに移動する」のように記述し、そのあと **エージェント指示を作成** を選択してください。

3

ドライランで確認

テスト文書で **ドライランを開始** を実行すると、ステップ、ツール、予定された変更が表示されます。業務上の内容は変更されません。

4

自動化を有効にする

承認とテストの成功後、**自動化モード** を有効にします。その後、すべての実行が **実行** の下に表示されます。

技術データ

機能	詳細
トリガー	AI-DMS の後、メタフィールドの変更、完了したタスク、承認または署名。ボタン、API、MCP による手動実行
フィルター	Workspace、書類の種類、メタフィールドのキー、繰り返しトリガーに対する保護
モデル段階	Workflow Agent Basic、Premium、Ultra：明確な流れから分析やトレードオフまで
管理	ドライラン、プロンプトの承認、実行ごとの支出上限、任意の実行承認
ログ	ステータス、書類、所要時間、ステップ履歴、すべての変更を示すツールのタイムライン
REST API	エージェント操作：/workflow_templates/agent_add、agent_update、agent_list、agent_get、agent_run_on_document
MCP ツール	ツール名：po_workflow_agent_add、_update、_list、_get、_run_on_document

03・実際の活用

書類から業務が生まれる場所では、 Workflow Agent が引き継ぎます。

ルールによる受付

「支払督促を経理Workspaceに移動し、チームリーダーにメールで送る」。AI-DMS の処理が終わると、エージェントはこの平易な言葉のルールを、受信するすべての書類に適用します。

解約通知を確認へ

期限付きの解約通知を、エージェントは法務Workspaceに移動し、そこで確認に回します。誰かが判断するまで、何も実行されません。

n8n への結果報告

各実行の後、Webhook の送信先が結果を n8n に報告します。パスやヘッダーには trigger.pofid などのプレースホルダーを使えます。お客様のシステムは署名を検証し、データを取得します。

よくある質問

プログラミングの知識は必要ですか？

プロセスをご自身の言葉で説明すると、Prompt Studio が指示に変換します。開発者は REST API や MCP からエージェントを作成し、個々の書類に対して実行することもできます。

どのように管理を保てますか？

自動化の前にドライランを行い、変更を伴うアクションはシミュレーションされます。自動化モードは、プロンプトが承認されるまでロックされたままです。実行の承認を設定すると、すべての実行を人が確認します。

ワークフローではどのモデルが使われますか？

エージェントごとに選択できます。単純で構造の明確なフローには Basic、条件付きの多段階ワークフローには Premium、複雑な分析やトレードオフには Ultra が適しています。

エージェントが何をしたか確認できますか？

はい。実行 の下に、すべての実行がステータス、書類、所要時間とともに一覧表示されます。さらに、ステップ履歴と、すべての変更を示すツールのタイムラインが確認できます。シミュレーションされたステップは、シミュレーションとして表示されます。

はじめに

最初の業務プロセスを一文で説明しましょう

Professional プランで、[Workflow AI > Workflow Agents](#) から最初のエージェントを作成し、[プロンプトスタジオ](#) に説明を書いて、ドライランでテストしてください。料金は利用量に基づき、モデル段階によって異なります。

paperoffice.ai/ja/ai-workflow-agents-agentic-jidoka



モジュールの詳細

paperoffice.ai/ja/ai-workflow-agents-agentic-jidoka

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase